

16 章 1,2 節 「1 あなたがたに私は推薦します、私たちの姉妹のフィベを。彼女はケンクレアにある教会の執事(奉仕者)です。 2 どうか、主にあって彼女を歓迎してください、聖徒たちにふさわしい者として、具体的に必要なことにおいて、彼女を助けてください。それは彼女が多くの人々の支援者(後援者:a patron)であるからです。そこには私自身も含まれます」

16 章 3-5 節 「3 挨拶します、プリスカとアキラ、キリスト・イエスにある私の同労者に。 4 彼らは私のいのち(たましい)のために自分たちの首を差し出して(いのちを危険にさらして)くれました。彼らに私は特に感謝しています、異邦人のすべての教会も含めてですが。 5 また彼らの家の教会にも。 挨拶します、私の愛するエパイントに、彼はキリストに献げられたアジアの初穂です」

16 章 6-9 節 「6 挨拶しますマリアに、彼女はあなたがたのために非常に労苦しました。 7 挨拶しますアンドロニコとユニアに、彼らは私の同胞で私とともに投獄されました。また彼らは使徒たちの間でよく知られており、また私より先にキリストにある者となりました。 8 挨拶しますアンプリアトに、彼は主にあって私の愛する人です。 9 挨拶しますウルバノに、彼はキリストにある私たちの同労者です。また私の愛するスタキスに」

16 章 10-12 節 「10 挨拶しますアペレに、彼はキリストにあって認められています。挨拶しますアリストブロの家の人々に。 11 挨拶しますヘロディオンに、彼は私の同胞です。 挨拶しますナルキソの家の主にある人々に。 12 挨拶しますトリファイナとトリフォサに、彼女たちは主にあって労苦しています。挨拶します愛するペルススに、彼女は主にあって非常に労苦しました」

16 章 13-16 節 「13 挨拶しますルフォスに。彼は主にあって選ばれた人です。また彼の母にも、彼女は私にとっても母です。 14 挨拶します、アシンクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマスに、また彼らとともにいる兄弟たちにも。 15 挨拶しますフィロロゴとユリア、ネレウスとその姉妹、またオリンバ、および彼らとともにいるすべての聖徒たちに。 16 挨拶を互いに交わしなさい、聖なる口づけをもって。あなたがたに挨拶をしています、すべてのキリストの教会が」

16 章 17-20 節 「17 兄弟たち、あなたがたに私は勧めます。警戒しなさい、分裂とつまづきをもたらす者たちを、それはあなたがたの学んだ教えに背くものです。彼らから遠ざかりなさい。 18 そのような者たちは、私たちの主キリストに仕えてはいません。彼らは自分たちの腹(欲望)になのです(仕えているのです)。彼らは、滑らかな(立派な、評判の良い)ことば、へつらい(雄弁な)のことばをもって、純朴な(純粋な、無垢な)人たちの心をだましています。 19 それはあなたがたの従順(コンプライアンス:教えに従う姿勢)が、すべての人々(の耳)に届いているからです。それであなたがたのことを私は喜んでいいます。ただし私は望んでいます。あなたがたが善に

は賢くあることを、また悪には無垢で(うとく)あることをです。20 しかし平和の神がサタンを踏み砕くことになります、速やかにあなたがたの足の下にです」

＜関連引用聖句＞

(I テモテ 3:11) 執事に関して「この奉仕につく女の人も同じように、品位があり、人を中傷する者ではなく、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません」

(使徒 18:26)「アポロは会堂で大胆に語り始めた。それを聞いたプリスキアとアキラは、彼をわきに呼んで、神の道をもっと正確に説明した」

(I コリント 14:33,34)「聖徒たちのすべての教会で行われているように、女の人は教会で黙っていないさい。彼女たちは語ることを許されていません」

(マルコ 15:21)「兵士たちは、通りかかったクレネ人シモンという人に、イエスの十字架を無理やり背負わせた。彼はアレクサンドルとルフォスの父で、田舎から来ていた」

(I テモテ 2:12-15)「12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません(女(妻)が教えることを私は許しません、男(夫)に対して権威をふるうことも)。むしろ、静かにしていなさい(むしろ静寂のうちにありなさい)。13 アダムが初めに造られ、それからエバが造られたからです(それはアダムが最初に造られたからです。それからエバでした)。そして、アダムはだまされませんでした、女はだまされて過ちを犯したのです(そしてアダムはだまされませんでした。しかし女(妻)はだまされて過ちへと導かれました)。15 女は、慎みをもって、信仰と愛と聖さにととまるなら、子を産むことによって救われます(彼女は救われることになります、子を産むことを通して、もし、真実と愛と慎みを伴う聖さにとどまり続けるとするならば)。

(使徒 20:29,30)「私が去った後、凶暴な狼があなたがたの中に入り込んできて、容赦なく群れを荒らし回ります。またあなたがた自身の中からも、いろいろと曲がったことを語って弟子たちを自分のほうに引き込もうとする者たちが起こって来るでしょう」

(ピリピ 3:18, 19)「多くの人が…キリストの十字架の敵として歩んでいます。その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望(腹)を神としています」

(ローマ 12:1)「ですから、私はあなたがたに勧めます、兄弟たちよ、神のあわれみを通してですが、あなたがたのからだを献げなさい、神に喜ばれる聖なる生きたささげ物(いけにえ)として。それこそがあなたがたにとって理にかなった礼拝です」

(創世記 3:4,5)「蛇は女に言った。『あなたがたは決して死にません。それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです』」

(新約聖書の執筆時代)

紀元 30-33 年:イエスの十字架と復活 48 年:パウロがガラテヤ書執筆 49 年前後:パウロがマルコの同伴を拒否 53-55 年頃?:マルコがローマで? ペテロの下で福音書を執筆 57 年頃:パウロがコリントにてローマ書を執筆 55-65 年:マタイ福音書がアンテオケで成立 紀元 60-62 年:パウロがローマで裁判を待つ、ルカが同行者:ローマでルカ福音書、使徒の働きが完成 64-67 年:ローマでパウロとペテロの殉教、紀元 70 年:エルサレムの滅亡